

東京都市大学

「都市生活」下支え 日本初の学部新設

東急グループの五島育英会が経営母体となっていた武蔵工業大学と東横学園女子短期大学が4月に統合、校名を「東京都市大学」と変え、新たなスタートを切った。新大学は「都市生活学部」と「人間科学部」を新設。日本初の学部となる都市生活学部には国内外から高い関心が寄せられているという。武蔵工大から引き続き学長の職務を担う中村英夫学長と都市生活学部の平本一雄学部長に聞いた。

の中で同じ五島育英会の東横女子短大との統合を決めた」

「09年度の入試はどうでしたか。」

「不況の真ただちで他大学は軒並み志願者を減らしているが、本学は昨年と比べて約25%志願者が増えた。志願者が増える」と当然、学生のレベ

学長

中村英夫氏に聞く

「いよいよ東京都市大が発足しました。」

「大学間競争は年々激しさを増している。生き残るためには、他にない特徴を見いださないとけない。武蔵工大も07年に工学部に生体医工学科、08年に原子力安全工学科を立ち上げ、差別化を進めてきた。その流れ

総合研究所を強化

燃料電池など開発・深耕



理工系の女子学生増加策に力を入れる…と中村さん

ルが上がる。特に新学部の都市生活学部は予想以上に志願者を集めた。都市での生活の質を高めるための教育や研究は非常に大切で、本学の意図するところが多くの受験生は、

「まず総合研究所を強化する。工学部から独立した機関として力を持たせる。外部からも優秀な人材を集め研究費も増額した上で、独自に予算を組む。最先端の実験装置を用い、燃料電池の研究やシリコン系ナノデバイスの開発、武蔵工大時代から長年研究が進められてきた水素エネルギーの研究を行う」

記者の目

理工系大と文系短大の統合だが、中村学長は「総合大学になっ

街づくりで実績を期待

「都市をテーマにビジネスを創造できる人を育てる学部だ。都市にかかわる空間や商品、サービスの企画、実現する力を

都市ビジネス創造

サービス企画力など育成

身に付けてもらう。経営系の文系学部の位置づけのスキルも同時に習得できる」

都市生活学部長

平本一雄氏に聞く

「カリキュラムで重視したことは、」



デザイン能力も高めてもらう…と平本さん

「旧武蔵工大以来、きめ細かい少人数教育が特

（南東京・大楽和範）